

がん遺伝子パネル検査

ー基本から新検査までー

がん遺伝子パネル検査が保険収載されてから、5年が経過しました。昨年夏には新検査が2つ追加となり、合計5つの検査から選べるようになりました。検査の煩雑さから、難しい検査と思われがちですが、がん患者さんに有益な情報が得られ、治療選択肢が増える可能性があります。まだこの検査に関わったことがない方も、既に検査に関わっている方も、職種問わず、興味を持ってもらえる内容にしたいと思います。

福島県立医科大学 腫瘍内科学講座 学内講師
附属病院 がんゲノム医療診療部副部長

講師 **木村 礼子 先生**
(きむら れいこ)



2005年 福島県立医科大学医学部卒業
2005年 康生会武田病院（京都市） 初期研修医、
消化器内科専攻医
2014年 京都府医科大学大学院 医学研究科消化器内科学修了
2014年 朝日大学病院（岐阜市） 消化器内科 助教
2015年 福島県立医科大学腫瘍内科学講座 助教
2019年 Odyssey ASC Endoscopy Center (CA, USA)
2021年 京都大学医学部附属病院腫瘍内科 医員
2024年 福島県立医科大学附属病院 がんゲノム医療診療部副部長
福島県立医科大学腫瘍内科学講座 学内講師

日時：2024年7月1日(月)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

司会：齋藤元伸先生（消化管外科学講座講師、
がんゲノム医療診療部部長）

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
- ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。